INAX

FRP浴槽

ポリエック

据置形
PB-1102BL(R)
PB-1102A(L)R-J
PB-1202A(L)R-J
PB-802B(BF)L(R)
PB-802C
PB-902C(BF)
PB-1002BL(R)
PB-802BL(R)
PB-902B(BF)L(R)
PB-902C
PB-802C(BF)
PB-902BL(R)
PB-1002B(BF)L(R)

埋込形
PB-801BL(R)
PB-901BL(R)
PB-1001BL(R)
PB-1101BL(R)

施工前に必ずお読みください

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の施工業者の方に手渡してください。
※**この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。**
●「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。

24時間バス（浴槽水浄化保温器）に該当する機器は使用しないでください。

※24時間バスに該当する機器を継続して使用すると、浴槽表面の**荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

安全のため必ずお読みください

●ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

⚠ 注意 …… 「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ …… 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

⃠ …… 行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗ …… 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

浴槽の上に乗って作業をしないでください。 ⃠
※足を滑らせて**ケガをしたり、浴槽にキズが付く恐れ**があります。

施工に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。 ❗
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

2階以上の階に施工する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。 ❗
※施工に不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

浴槽と壁・タイルの接合部分は、必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。 ❗
※施工に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

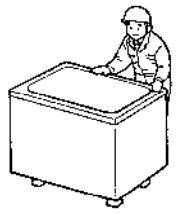
循環釜を取り付ける場合は、循環釜の施工説明書もよくお読みの上、正しく取り付けてください。 ❗
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

エプロンコーナー部に保護パッドが付いていることを確認してください。 ❗
※保護パッドが付いていないと、鋼板でお客様が**ケガをする恐れ**があります。

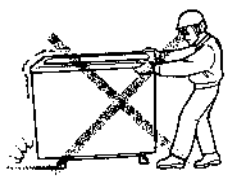
循環釜を取り付ける場合、エプロンを貫通した穴あけは、絶対に行わないでください。 ⃠
※万一空だきをした場合、**火災の恐れ**があります。

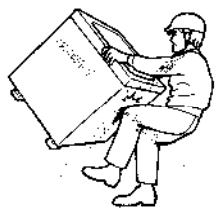
施工前のご注意

●浴槽本体に破損等がないことを確認してください。
※商品には万全を期してありますが、輸送等で**破損している場合**があります。
そのような場合は、取扱店または当社支社へお問い合わせください。



●必ず搬入経路を確保してください。
また、運搬するときは必要人数を確保し、引きずったり、エプロン部に力の加わるような運搬はしないでください。
※**浴槽が破損する恐れ**があります。

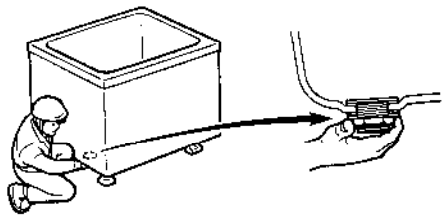




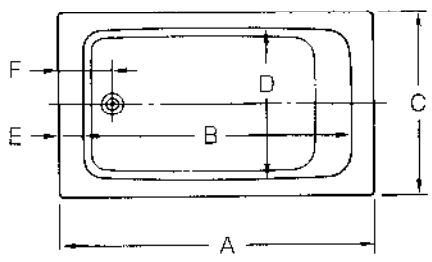
●納品された部品の確認を必ず行ってください。

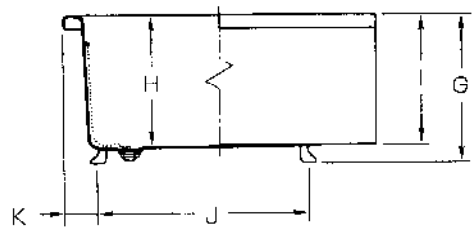
●壁材との取合いを確認してください。

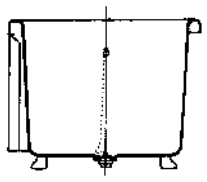
●排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
※輸送等で**ゆるんでいる場合**があります。



商品図







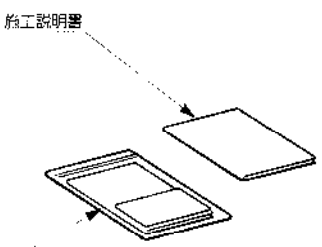
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
PB-1202AL/L11-J	1200	1040	720	600	80	180	585	530	530	800	130
PB-1101BL	1100	950	720	600	70	170	600	550	400	710	120
PB-1102AL/L11-J	1100	950	720	600	70	170	600	550	550	710	120
PB-1102BL	1100	950	720	600	70	170	600	550	540	710	120
PB-1001BL	1000	895	720	610	50	160	660	610	400	710	115
PB-1002C	1000	895	720	610	50	160	660	610	590	710	115
PB-1002BL	1000	895	720	610	50	160	660	610	590	710	115
PB-901BL	900	800	700	600	50	145	660	610	400	700	100
PB-902C	900	800	700	600	50	145	660	610	590	700	100
PB-902BL	900	800	700	600	50	145	660	610	590	700	100
PB-801BL	800	700	700	600	50	145	660	610	400	600	100
PB-802C(BF)	800	700	700	600	50	145	660	610	590	600	100
PB-802BL	800	700	700	600	50	145	660	610	590	600	100

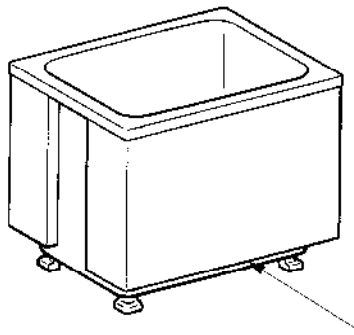
株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。

部品の確認

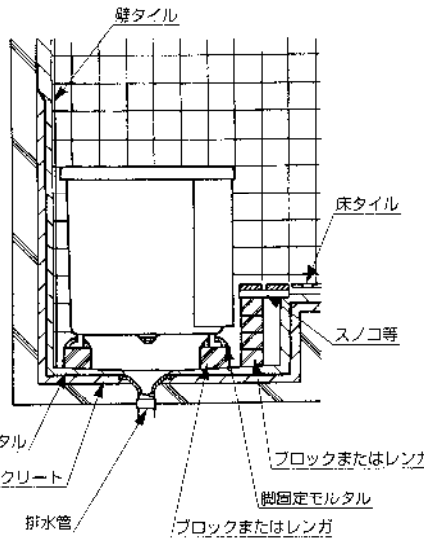




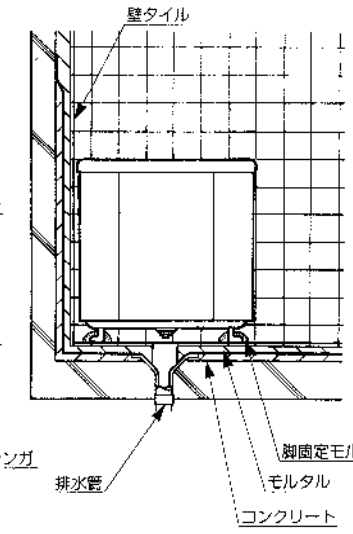
※取扱説明書・保証書は店名を記入の上、必ずお客様にお渡しください。

施工例

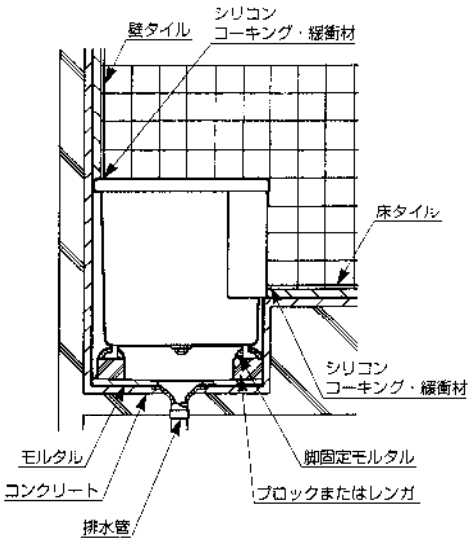
(落とし込みタイプ)



(据置タイプ)

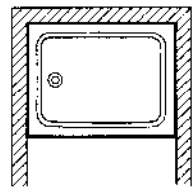


(埋込タイプ)

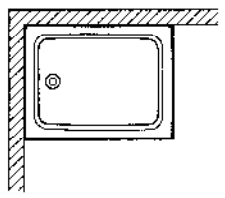


施工プラン

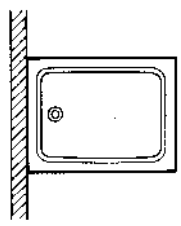
プラン1



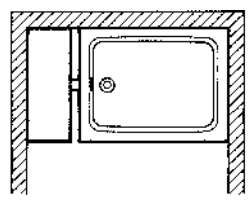
プラン2



プラン3

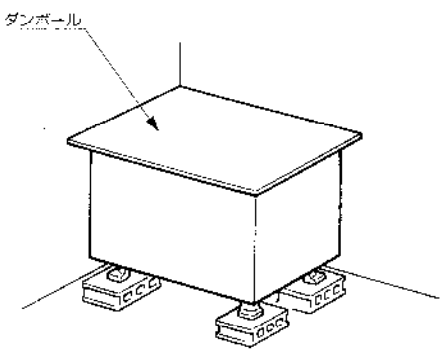


プラン4

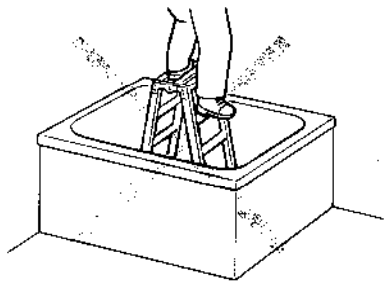


施工上のご注意

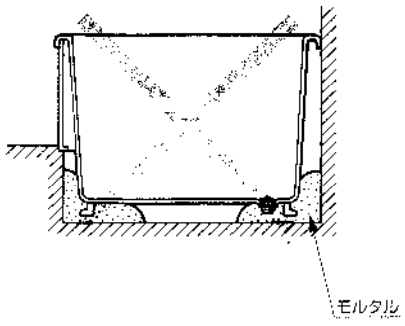
● 工事中は浴槽全体をビニールカバーやダンボール等で保護してください。
※ 浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



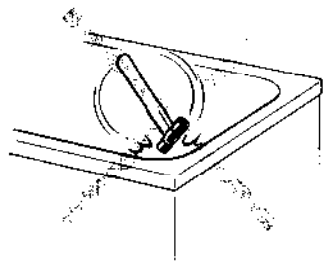
● 絶対に土足でのったり、脚立等を浴槽内に立てないでください。
※ 浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



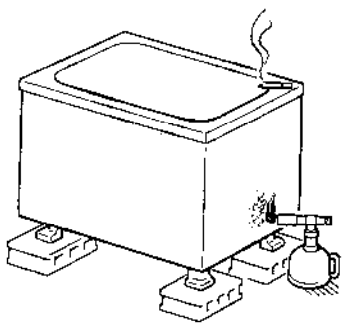
● 浴槽にモルタルを付着させないでください。さらに、下図のようなモルタル埋込みは絶対にしないでください。
※ 裏面から圧力が加わり、**浴槽が長持ちしない恐れがあります。**



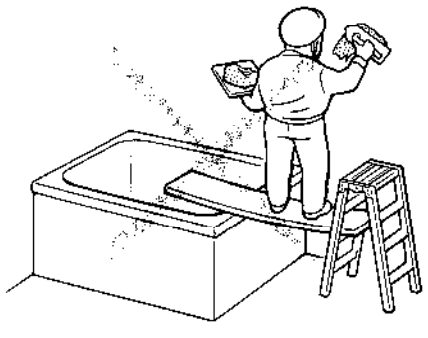
● 浴槽に硬いものをぶつけたり、工具等を落さないでください。
※ 浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



● トーチランプの火や溶接の火花、タバコの火等が浴槽に当たらないようにしてください。
※ 浴槽が**破損したり、変色する恐れ**があります。

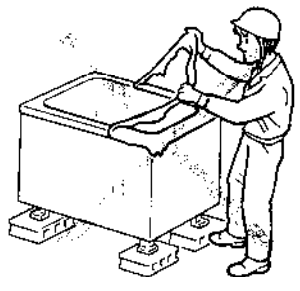


● 浴槽の上部に重いものを載せたり、表面にモルタル等を付着させないでください。
※ 浴槽に**キズが付く恐れ**があります。

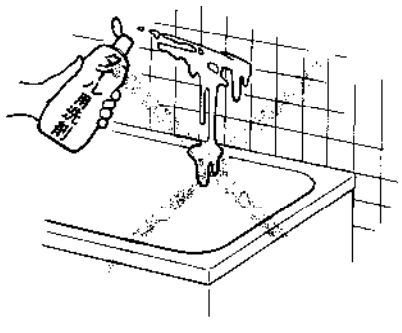


● 浴槽手すり部の養生シートは、施工が完了するまで、はがさないでください。
※ 浴槽表面に**キズが付く恐れ**があります。

ただし、手すり部を埋め込む場合は埋込部のシートのみをはがして施工してください。



● 浴槽にタイル洗いの塩酸等を含んだ洗剤をかけないでください。
※ 浴槽が**傷みます。**
万一かかった場合は、すぐに水で洗い流してください。



■施工に際して

この商品は施工のタイプにより、施工手順が異なります。
右表に従って施工を行ってください。

施工のタイプ	施工手順
埋込タイプ	1→2→3A→4
落とし込みタイプ	1→2→3B
据置タイプ	1→3C

施工手順

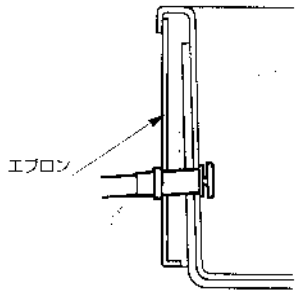
1 循環釜接続用の穴あけ（循環釜を取り付ける場合）

循環釜を取り付ける場合は、循環釜接続用の穴あけを行います。

⚠ 注意

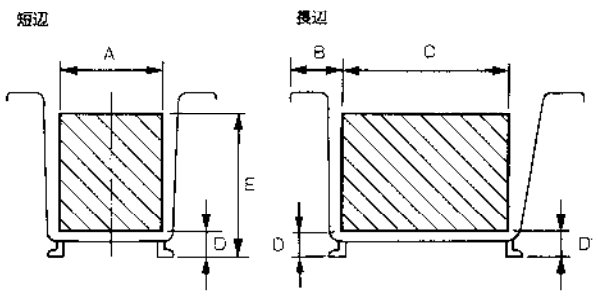
循環釜の施工説明書もお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

エプロンを貫通した穴あけは、絶対に行わないでください。
※万一空だきをした場合、**火災の恐れ**があります。



① 穴あけ位置（下図斜線部）を確認します。

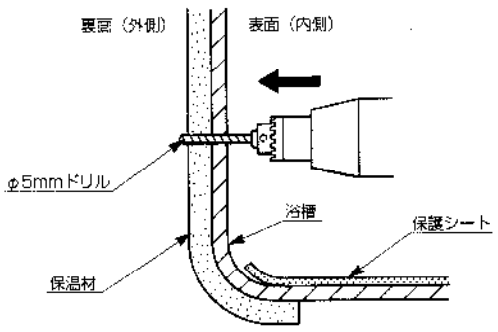
●穴あけ位置（下図斜線部）以外に穴をあけないでください。
※漏水の原因となります。
循環釜の施工説明書もお読みの上、穴をあけてください。



品　番	A	B	C	D	D'	E
PB-1200タイプ	360	180	660	130	140	300
PB-1100タイプ	360	170	610	130	140	310
PB-1000タイプ	360	160	620	130	140	355
PB-900タイプ	380	150	580	130	140	355
PB-800タイプ	380	150	480	130	140	355

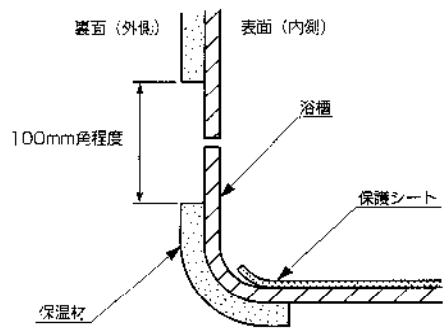
※斜線部はφ50mmの穴をあける場合の穴あけ中心位置を示します。
※φ50mmより大きな穴をあける場合はその分、斜線部の内側によせて穴をあけてください。
※長辺側への穴あけは三方エプロンの場合、不可能になります。

② **φ5mmのドリル**でセンター穴をあけます。



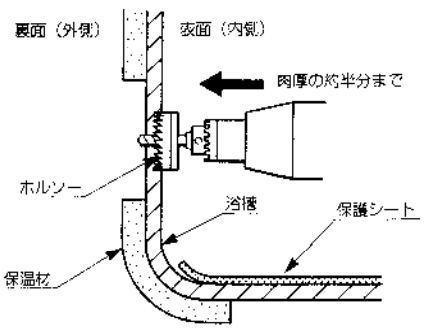
●ドリルはよく切れるものをお使いください。
そして、穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損する原因となります。

③ **【公団タイプ［PB-1102AL(R),1202AL(R)］のみ】**
浴槽裏面（外側）の保温材を循環金具より広く（100mm角程度）取り除きます。



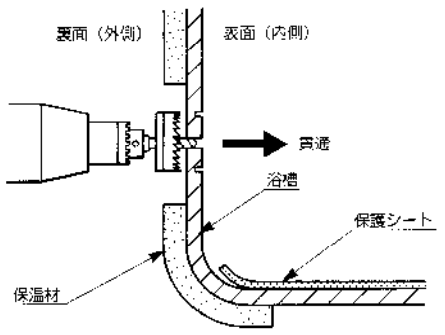
●保温材の取り残しのないようにしてください。
※漏水の原因となります。
●保温材を取り除く際に、浴槽にキズを付けないようにしてください。

④ 浴槽表面（内側）からセンター穴をガイドにして、ホルソーで肉厚の約半分（約2mm）まで穴をあけます。

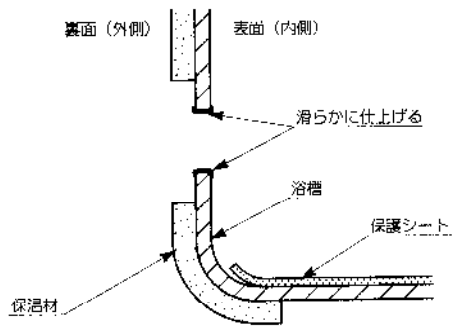


●ホルソー（超硬刃付き）やホルソーのセンタードリルはよく切れるものをお使いください。
そして、穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※穴の周囲が破損する原因となります。
●ホルソーのセンタードリルが浴槽を貫通した際に、ホルソーが浴槽に強くぶつからないようにしてください。
※穴の周囲が破損する原因となります。
●一気に貫通しないでください。
※穴の周囲が破損する原因となります。

⑤ 浴槽裏面（外側）からホルソーにて貫通穴をあけます。



⑥ 穴あけ後はサンドペーパー（＃150程度）等で穴の切口を滑らかに仕上げます。

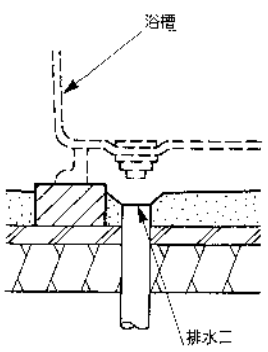


●サンドペーパー等で仕上げる際に、浴槽表面（内側）にキズを付けないようにしてください。

【埋込、落とし込みタイプの場合】

2 浴槽の下地作り

① 排水口の位置を商品図で確認し、
φ75mm以上の穴を設けます。
※ 排水は**間接排水**としてください。



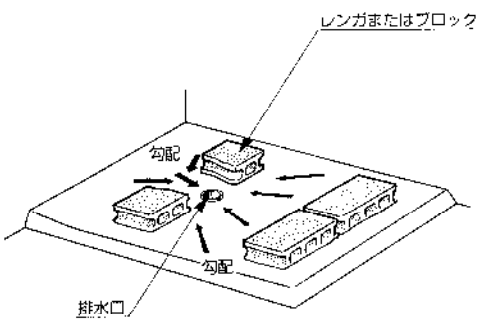
② 排水口への排水勾配（1／50～1／100程度）を設けます。

③ 浴槽脚部の位置を商品図で確認し、土台の位置を決めます。

④ 浴槽の土台にはレンガ、またはブロックを使用し、上面が水平になるように固定します。

⚠ 注意

2階以上の階に施工する場合は、必ず床の防水工事を行ってください。
※施工に不備があると漏水により、**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。



【埋込タイプの場合】

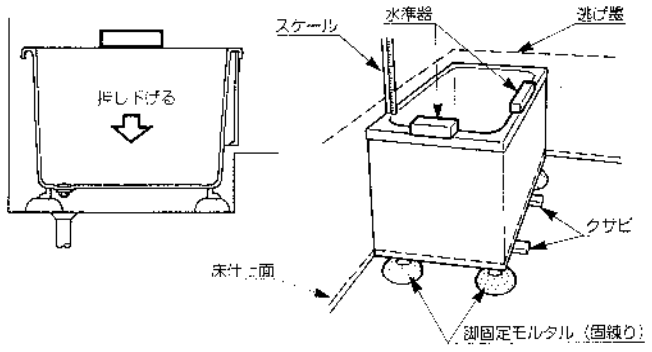
3A 浴槽の据付け

〔保温材について〕

●保温材は付けたままで施工してください。
その際、保温材がブロックやレンガと当たらないようにしてください。
万一当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。

① 浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。

② スケールを立て、浴槽の上に水準器を置いて、逃げ墨からの寸法に注意しながら、下図のように真上から徐々に浴槽を所定のレベルまで押し下げます。
※ 所定のレベルまで押し下げたら、エプロンの下にクサビを入れて、これ以上下がらないようにしてください。



●浴槽を所定の位置より下げ過ぎた場合には、浴槽を外してモルタルの盛り上げからやり直してください。
※ただ持ち上げただけでは、浴槽は浮き上って固定されません。
●モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けないでください。
※浴槽がかたむいたり、沈下する場合があります。
●モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力が加わる施工や、手すり部だけで支える施工は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

【落とし込みタイプの場合】

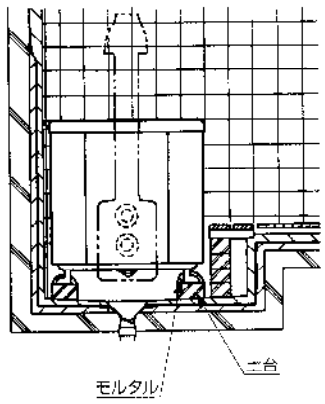
3B 浴槽の据付け

〔保温材について〕

●保温材は付けたままで施工してください。
その際、保温材がブロックやレンガと当たらないようにしてください。
万一当たる場合には、その部分だけ保温材を取り除いてください。

① 浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。

② 浴槽の上に水準器を置いて、真上から徐々に浴槽を押し下げます。
※ 水平がとれていないと、浴槽内に水が残る場合があります。



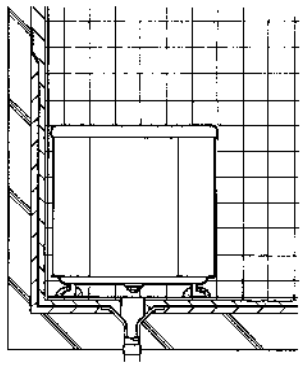
●モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けないでください。
※浴槽がかたむいたり、沈下する場合があります。
●モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力が加わる施工や、手すり部だけで支える施工は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

【据置タイプの場合】

3C 浴槽の据付け

① 浴室床面に浴槽を置きます。

② 浴槽脚部をモルタル（固練り）等で固定します。
※ この施工方法は浴槽が倒れやすいので、転倒防止対策を行ってください。



4 仕上げ

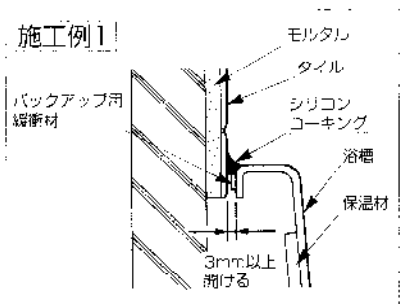
〔壁付面取合い例〕

⚠ 注意

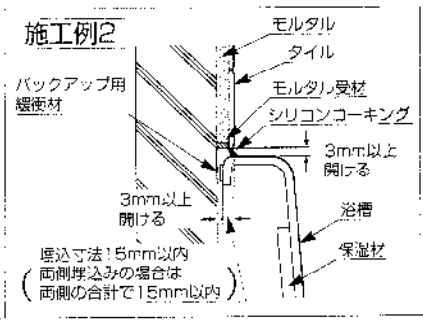
浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※施工に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

●バックアップ用緩衝材は、クッションテープ等の柔らかいものを調達してください。
※塩化ビニールやゴム系のバックアップ材の中には、その成分によりシリコンコーキングを黄変させるものがありますので使用前に確認してください。（推奨タイプ：ポリエチレン発泡体のバックアップ材）
●「施工例2」のように、手すり部を壁に埋め込む場合、埋込寸法は15mm以内にしてください。
（浴槽の両側を埋め込む場合は、両側の合計で15mm以内）
※風呂フタが置けなくなったり、はみ出したりする場合があります。

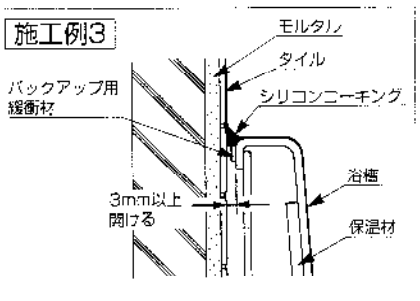
施工例1



施工例2

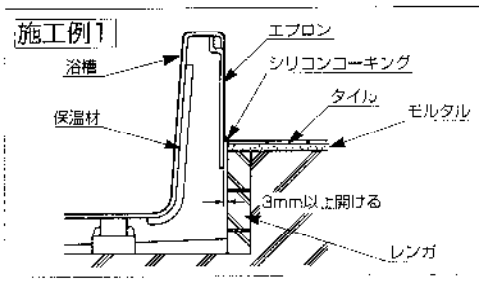


施工例3

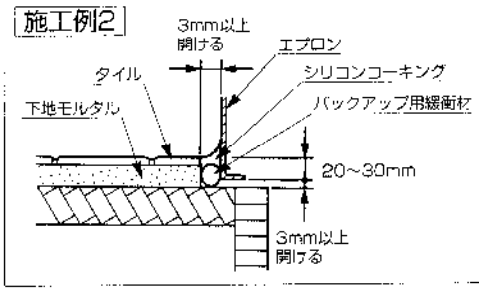


〔エプロン取合い例〕

施工例1



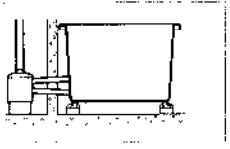
施工例2



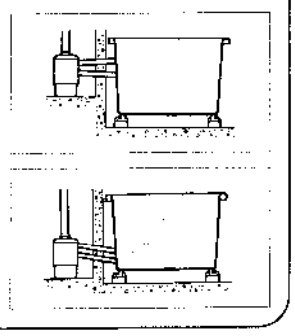
循環パイプの接続例

必ず上部給湯パイプは浴槽に向かって上り勾配に、下部給水パイプは下り勾配になるように接続してください。
※ 循環パイプの接続が悪いと、湯の沸き（熱効率）が悪くなるばかりでなく、循環釜に悪影響を及ぼします。

■良い例



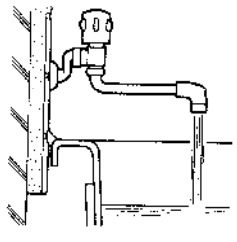
■悪い例



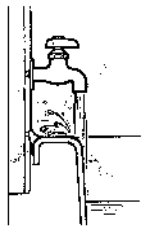
給湯・給水栓の取付例

給湯・給水栓を取り付ける場合は、浴槽の手すり部に湯水が当り、飛び散らないようにしてください。
※ 長期間使用していると、水質により手すり部に水アカやサビが付着する場合があります。

■良い例



■悪い例



確認

1. **清掃**
浴槽内のゴミや異物を取り除きます。
2. **水漏れの確認**
給水、排水して循環金具の取付部等より水漏れがないことを確認します。
3. **保護**
浴室の全ての工事が完了するまで浴槽全体をダンボール等で十分保護します。
4. **引渡し**
取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書、保証書（内容記入の上）を必ずお施主さまにお渡しください。